

避難地域復興・産業振興対策特別委員会

会議記録（第11号）

令和7年9月30日

福島県議会

1 日時

令和7年9月30日（火曜日）

午前 10時30分 開会

午前 10時45分 閉会

2 場所

第一特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 調査終結について
- (2) 調査報告書について
- (3) 知事申入れについて
- (4) その他

4 出席委員

委員長	長尾 トモ子	副委員長	佐々木 恵寿
委員	太田 光秋	委員	亀岡 義尚
委員	宮本 しづえ	委員	伊藤 達也
委員	佐藤 郁雄	委員	山口 信雄
委員	渡辺 康平	委員	安田 成一
委員	半沢 雄助	委員	誉田 壽孝

5 事務局職員

政務調査課	主任	主査	渡部 幹雄
政務調査課	主	査	鈴木 寿実

6 執行部出席者

企画調整部長	五月女 有良
福島イノベーション・コースト構想推進監	

兼政策監 佐藤 安彦
企画調整課長 渡辺 浩史

7 議事の経過概要

(午前 10時30分 開会)

長尾トモ子委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから避難地域復興・産業振興対策特別委員会を開会する。

初めに、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、太田光秋委員、亀岡義尚委員を指名する。

次に、本日の会議運営について諮る。

本日は、まず初めに、本委員会の調査終結について諮り、次に、調査報告書の取りまとめを行った後、知事に対する申入れについてお知らせする順序で進めたいが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように進める。

なお、本日の会議には、企画調整部長及び関係職員の出席を求めていいるので、了承願う。

それでは、本日の議事に入る。

はじめに、本委員会の終結について諮る。

本委員会の調査については、今定例会をもって終結することを目指に、鋭意、調査を行ってきた。付議事件の調査については、概ね、その目的を果たしたものと思われる。したがって、本委員会の調査は今定例会をもって終結したいがいかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

次に、調査報告書について諮る。

委員会における調査が終結した場合、会議規則第76条の規定に基づき、委員会報告書を議長に提出することとなっている。

については、この調査報告書（案）をもって委員会の調査報告書としたいがいかがか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、会議規則第40条第1項により、委員長が調査の経過及び結果を本会議場で報告するが、その案文については、正・副委員長に一任願う。

次に、知事に対する申入れについてである。

申入れの詳細については、前回の委員会において、正副委員長に一任いただいたところであるが、10月2日、今定例会最終日の本会議終了後、正副委員長及び理事により行うので了承願う。

なお、知事申入れに先立ち、本日の委員会終了後、正・福委員長及び理事により、議長に対し、調査結果報告を行うので併せて了承願う。

以上で本日の日程を終了したいが、本委員会の調査終結に当たり一言御挨拶申し上げる。

本委員会は、「避難地域復興・産業振興対策」及びこれに関連する事項について調査するために令和5年12月26日に設置され、本日まで調査活動を行ってきたところである。

何分、限られた期間における調査であり、付議事件のすべての問題について、議論を尽くすことは困難であったが、この間、委員の皆様におかれでは、格別の御精励を賜り、実りある調査活動が行えたことを心より感謝申し上げる。

本委員会では、本県が、最優先課題の一つとして取り組むべき「避難地域の復興・創生」、「産業の振興」及び「これらに関連する事項」について、施策の強化に取り組むため、広範に提言等をまとめることができた。

東日本大震災・原子力災害により14年以上が経過し、F-REIを中心とした福島イノベーション・ココスト構想の進展により、新規産業も生まれてきているなど着実に復興は進んでいる。

避難地域には、ドローンや水素エネルギーなどのスタートアップ企業の立地など、

今後の発展が期待される企業が存在しており、F－R E I の研究活動が本格化すれば、周辺地域への研究者や関係者の居住や交流の活発化により、人々の生活を支える機能も充実し、若者にとっても魅力ある地域となっていくと考えられる。

それらの状況の変化にも対応した産業の振興施策により、豊かな社会と住みやすい、人々に選ばれる福島県の創出を目指していかなければならない。

本委員会における調査は、今定例会をもって終結するが、今回の調査報告書で取り上げた提言等が実現され、避難地域を復興し、また、産業の振興が図られるよう、委員の皆様には、なお、一層の御尽力を御願いする。

終わりに、本委員会の調査活動に特段の御協力をいただいた企画調整部、その他関係部局の皆様に対し、心から御礼を申し上げ、委員会終結に当たっての挨拶とさせていただく。

以上をもって、避難地域復興・産業振興対策特別委員会の調査を終結する。

(午前10時45分 閉会)